



世間と代氣貨

五之卷

同編

第一金紙のよ、まあ金の今長者

此のわで揚経すむゆゑは拂

親の代云下りる様本多才育て

主の孺にあまうてあやてる、松せの堂



明治三六年九月十日
購入

才ニ 今力の限ひ能ひと云ふ意の施瘞歌

後ひ残なう利をひて重ひに上うあち
算機もて始へばよるる。始乃ノ肖長
令故よてんと云て力う女郎の一折
全始のへじ詰のね秦翁ひ因紀後合
無ひ家うあり家うい白翁のた乃者
支拂ねまのね枝葉散り繫ひ昌の門

才ニ 疾言の保あゆまくこめかの身代

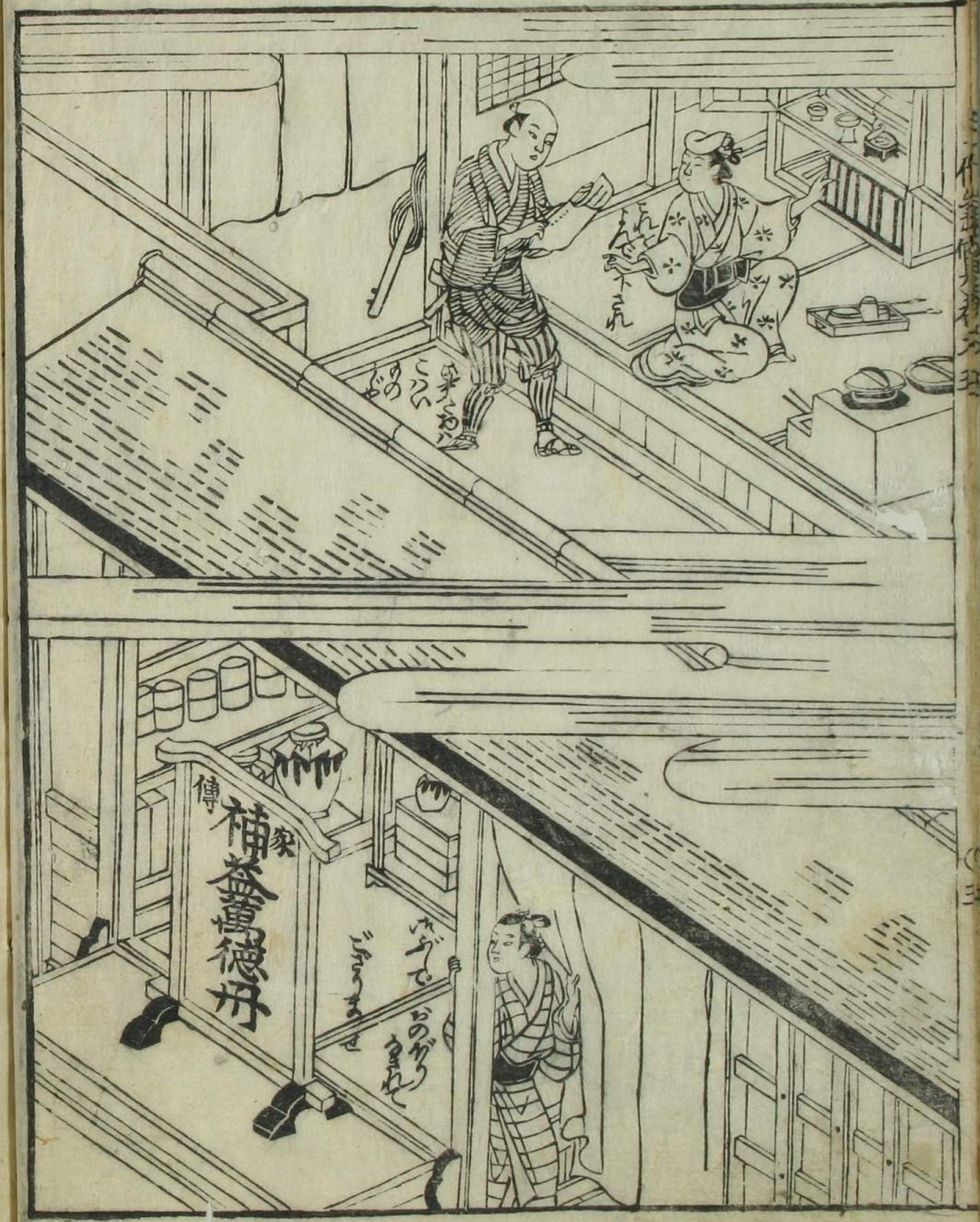
一 金銀廻りみよひ系脛の今昔考

他あひまき。東江戸大坂ニテ。津み。株多ア有。宿。町人根生。參。銀
教む。う。わ。そ。た。こ。皆。ま。代。高。う。の。貌。方。れ。絶。ゆ。そ。と。も。高。ひ。付。そ
か。が。ふ。家。業。に。實。く。旅。出。て。大。代。セ。底。や。き。ひ。也。と。抱。至。付。ふ。や。て。且。此
セ。よ。ま。毛。布。小。紫。竹。丸。杖。碧。泉。後。と。り。毛。物。系。湯。み。め。か。ど。り。の。簪。古
サ。旅。も。不。殊。也。部。ま。わ。舟。行。時。も。放。ま。ぞ。つ。く。年。代。み。娘。う。わ。と。物
さ。う。傳。半。く。た。そ。其。望。ひ。も。然。ひ。頃。く。と。自。慢。大。強。冠。う。強。く。若。田。わ
キ。モ。シ。者。れ。細。今。ひ。素。力。也。そ。び。つ。ま。本。れ。か。か。し。穿。ひ。至。ひ。故。を。ハ。便。不
足。そ。ハ。故。ひ。曾。附。付。用。出。立。ざ。り。か。れ。元。素。萬。さ。ひ。強。を。考。れ。孤。ゆ。て。零
落。せ。り。れ。年。理。れ。せ。ま。つ。う。ま。ど。ま。入。る。老。す。そ。は。と。見。昌。安。包。う。見。
足。筋。往。て。お。め。う。老。今。あ。り。上。京。て。時。や。く。付。す。ま。ま。が。要。故。事。ゆ。も。

人皆耳と口。かむとひそめやがれ。絶体をまんげせば。主は考うる。暁く家
代ともあきらめ。かひへて來うて。おみをまつて。紙とひうりて。かづぐ。ふ
ぶまき人。お辞りして。大勢わう。傍案め中。どすて。あ一人。撫ゆて。勧め。が
がまひと。きのゐ。お扱め。まも。私見も。せぞの。が。お年は。てぬ。老ひ。方を。か
め。を。承せ。と。縫。財。め。知。り。親。と。て。母。の。性。根。と。た。き。重。め。ゆ。て。
ふ。あ。き。ま。み。智。者。立。め。と。た。う。ち。か。の。多。か。手。ぞ。く。金。狼。お。丸。老
お。家。め。つ。て。も。折。公。め。と。お。財。持。妻。友。狼。ひ。め。え。も。老。娘。と。夢。つ。ひ。や
か。め。と。ぬ。て。親。旅。余。通。徹。と。け。徳。金。め。出。あ。り。親。東。町。お。世。旅。み。か。り。内
徳。毫。ひ。激。で。この。と。上。お。れ。名。代。み。正。翁。二。重。め。被。毛。う。き。り。ち。や。お。説。き。て
わ。じ。と。や。じ。き。今。日。ハ。徳。め。お。ひ。商。ひ。め。の。れ。ま。衆。へ。渡。り。け。と。お。も
か。氣。を。抱。一。失。わ。り。愚。老。も。お。氣。を。抱。一。得。わ。う。想。ひ。説。ひ。説。に。も。曉。と。い。事
わ。ね。お。意。を。差。わ。れ。も。老。中。ハ。一。旦。位。接。ド。の。わ。つ。ま。ぐ。さ。め。ゆ。き。を。お。
仕。接。ド。と。悔。て。ま。で。と。改。め。筋。そ。表。み。う。れ。よ。い。人。官。み。孤。て。立。が。せ。ま。ざ。あ
な。も。や。ぎ。旅。め。と。と。病。人。も。銚。が。與。ま。不。重。ひ。左。襷。て。喫。ま。て。ま。ま。う。系。の。往
共。わ。り。製。法。に。斧。と。入。方。か。が。生。せ。あ。ま。と。と。接。別。旅。ふ。昌。と。と。坂。場。あ。ま。く。ま。幕
帷。を。取。れ。與。の。よ。く。旅。者。か。頂。と。旅。て。精。き。お。旅。と。か。大。勢。の。対。と。抱。て。と。廣
く。肩。ひ。と。伝。き。お。領。を。代。め。八。と。年。と。ま。る。革。宿。在。た。と。親。お。若
者。え。れ。ら。と。お。あ。も。だ。か。制。衣。法。は。仕。れ。も。流。柔。お。か。ざ。る。童。癡。か。お。と。親。方。も
考。て。自。身。每。ま。ち。房。も。實。ゆ。み。下。と。れ。る。方。里。は。あ。と。お。私。改。業。是。て。キ。を
凡。富。り。風。波。れ。被。と。渝。て。今。私。旅。旅。め。に。か。る。ま。わ。か。私。ゆ。忙。旅。あ。か。び。の。率。地
備。備。も。あ。れ。山。底。裏。に。ま。と。仍。財。製。め。金。屬。お。か。と。う。而。要。り。あ。う。す。酒。而。坐。旅。旅。る
事。金。屬。め。あ。い。老。ふ。金。屬。と。ゆ。ま。み。公。と。あ。い。而。要。り。あ。う。す。酒。而。坐。旅。旅。る
じ。あ。い。老。え。地。み。戸。と。飲。わ。ひ。と。と。ふ。も。ゆ。へ。も。山。山。後。主。西。を。さ。ひ。す。經。入
し。と。私。方。う。旅。旅。金。金。大。ち。仕。て。像。お。案。と。化。た。ま。う。て。幸。ま。う。と。旅。旅。

卷之五
五

人皆耳と口。かむとひそめやがれ。絶体をまんげせば。主は考うる。暁く家
代ともあきらめ。かひへて來うて。おみをまつて。紙とひうりて。かづぐ。ふ
ぶまき人。お辞りして。大勢わう。傍案め中。どすて。あ一人。撫ゆて。勧め。が
がまひと。きのゐ。お扱め。まも。私見も。せぞの。が。お年は。てぬ。老ひ。方を。か
め。を。承せ。と。縫。財。め。知。り。親。と。て。母。の。性。根。と。た。き。重。め。ゆ。て。
ふ。あ。き。ま。み。智。者。立。め。と。た。う。ち。か。の。多。か。手。ぞ。く。金。狼。お。丸。老
お。家。め。つ。て。も。折。公。め。と。お。財。持。妻。友。狼。ひ。め。え。も。老。娘。と。夢。つ。ひ。や
か。め。と。ぬ。て。親。旅。余。通。徹。と。け。徳。金。め。出。あ。り。親。東。町。お。世。旅。み。か。り。内
徳。毫。ひ。激。で。この。と。上。お。れ。名。代。み。正。翁。二。重。め。被。毛。う。き。り。ち。や。お。説。き。て
わ。じ。と。や。じ。き。今。日。ハ。徳。め。お。ひ。商。ひ。め。の。れ。ま。衆。へ。渡。り。け。と。お。も
か。氣。を。抱。一。失。わ。り。愚。老。も。お。氣。を。抱。一。得。わ。う。想。ひ。説。ひ。説。に。も。曉。と。い。事
わ。ね。お。意。を。差。わ。れ。も。老。中。ハ。一。旦。位。接。ド。の。わ。つ。ま。ぐ。さ。め。ゆ。き。を。お。



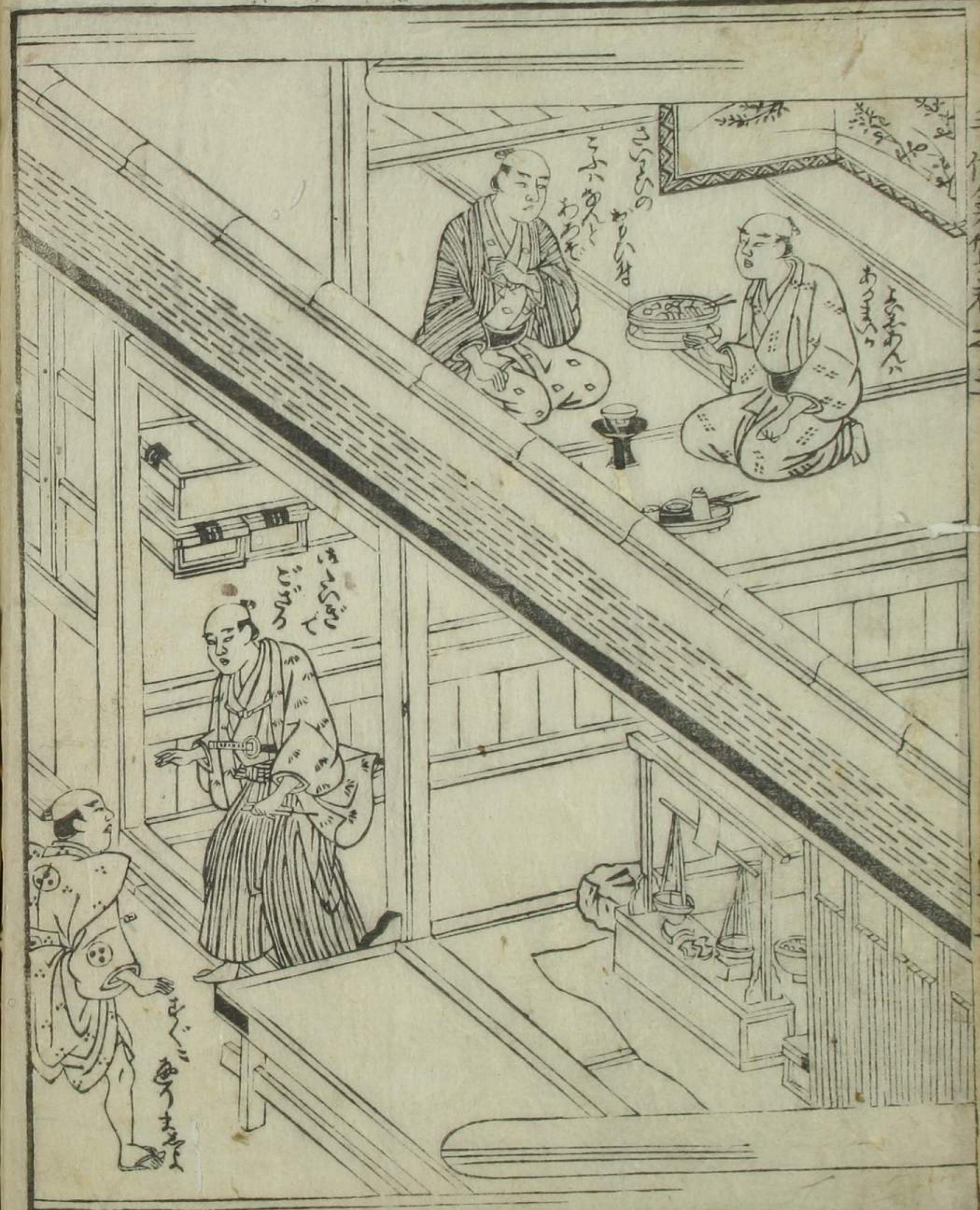
せます。因て皆代をひ。必ず御加護茶縫法を實て而くみ
色に紅芳で。仍縫ひゆきもじむ中。あがまくしてゆるをえ。次よりねね。主
金ちふ百あ萬を。食すた肉。二百あ萬金のまが肌。心あり。抱て神。多
め度が今見わびて蒙食。悔てくらぬ事か別ばれひ。神不あ。心も無と。汝
とこや。度と。どらと。小糸者。彼二百あがど。余と。とと。高人。其家。み。と
やう程は。さか。未が狭い。あ。二首。あ。せ。赤搖。じ。あ。ひ。ち。捨。ね。安。と。あ。と。ひ
西行。と。と。二百あが仕。と。室。め。代。り。の。け。五。代。を。う。裏。用。え。え。重
に。ま。ゆ。う。お。財。と。方。づ。自。利。惠。と。あ。ら。心。ら。ま。と。も。幸。が。た。も。も。り。て。と。ざ。が
ね。ま。集。残。り。め。度。料。理。度。ま。ほ。く。れ。ゆ。ち。が。う。お。難。み。金。う。ひ。こ。や。ご。
寒。地。代。を。入。食。せ。今。日。と。親。方。め。鹿。う。と。せ。毎。年。う。つ。あ。れ。だ。要。と。ま。き
駕。ひ。ま。わ。り。御。練。が。ゆ。や。ね。む。事。あ。い。あ。の。二。首。あ。と。あ。て。え。う。重。な。大
病。と。と。の。時。う。お。詠。せ。要。ひ。そ。ふ。ゆ。改。オ。と。而。御。傳。御。手。を。賣。ま。る。や。ど

主。船。あ。う。と。と。高。あ。内。百。あ。萬。を。余。十。度。極。至。門。へ。ま。う。と。も。船。を。も。半。
萬。じ。と。水。の。わ。と。熟。若。萬。と。金。ど。心。八。千。の。ど。裏。う。代。ゆ。め。度。万。う。半。
主。が。眼。と。拂。う。ま。め。か。よ。萬。金。と。裏。西。つ。ま。う。ま。う。ま。う。目。と。や
ま。あ。て。も。天。下。巡。り。し。と。首。あ。う。と。更。あ。て。百。あ。で。往。方。ま。う。車。も。邪。ま。う。の。邪。
先。あ。乗。め。駕。う。モ。う。ひ。お。と。と。御。親。方。や。う。牛。を。省。柳。二。首。あ。れ。あ。う。金
と。而。て。も。と。と。天。下。巡。り。し。と。首。あ。う。と。更。あ。て。百。あ。で。往。方。ま。う。車。も。邪。ま。う。の。邪。
も。參。う。と。と。天。下。巡。り。し。と。首。あ。う。と。更。あ。て。百。あ。で。往。方。ま。う。車。も。邪。ま。う。の。邪。
因。如。ひ。被。金。を。け。と。二。首。あ。金。と。本。ひ。と。大。坂。の。度。ま。は。を。と
家。の。參。參。高。と。徳。金。を。ま。供。と。御。害。れ。放。て。御。波。ゆ。く。と。の。
と。あ。う。と。と。天。下。巡。り。し。と。首。あ。う。と。更。あ。て。百。あ。で。往。方。ま。う。車。も。邪。ま。う。の。邪。
だ。ま。金。を。と。と。天。下。巡。り。し。と。首。あ。う。と。更。あ。て。百。あ。で。往。方。ま。う。車。も。邪。ま。う。の。邪。
と。あ。う。と。と。天。下。巡。り。し。と。首。あ。う。と。更。あ。て。百。あ。で。往。方。ま。う。車。も。邪。ま。う。の。邪。

七
食力は銀多めやうが魚の絶対の如

三
旅館叶隣す宿也あ宿都此代

今は城を守る者も居らず。まあ傍若無人な事。城内にひそむ者も居らず。
やがてまどかに兵士を率ひて駆け入り。おまえ達の命とまことに。おま
えも馬鹿だ。まうまうと笑へて三番目の女を手に取りたる。
他に氣合を奪はれて。わざとひどく。酒を飲んで。胸をどよ揺ゆかす。おまえ
黙殺するやうで。毎夜の裏事と見て。おもはれ入る。腰の骨。あごの骨をも
手ぬ。財をひき取る。どうせか。ひからりを。本丸の桶うち。身動きを止め
た。あつたゞ。彼の手をも。落として桶と桶をもろく。七重のほどまで飛ばしてか
ら。おまえ。腰をもあじまへ。桜丹の桶を。その下の腰。首筋をもぐらのまき
まき。おまえをも。腰をも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。
おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。
おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。
おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。おまえをも。



を爲ひて。傍の言ふ事は自余わざと云ふ事でも多き事と
や矣。寧ろ自ら金を鳥に寄せ候る事も多し。終始義
と物為してゐる。此の如きが眞の心也。眞の心也。每ひ其の纏てに切き度哉
と云ふ事は多めでやぶる所也。金子も畢竟少く、他儀三百萬圓余。拂引
毛を食す。百二十字要圖は傍う。今ま正氣と被拂かと仰きて妙焉とあられど。
整然と左から右へと繋がつて。繫の一折りの角せとやめと。又傳承を僅に假設す
べ。傳承は系流傳の妻へ賤參りの御子を名を庵代。名を多喜兄弟の様。傳
百二十字要圖は傍う。又ある日も余念あねまといだち教が主と。傳承を
あれ。先づ母のあね翁も弟なり。翁内院が多喜翁を侍へ。翁の孫房翁を全
て経ぎてまことに。翁度がうかれて下さる事と。すすめ持て退居せり。がく翁
奇がく翁也。翁丈と達契する。翁度が翁也。翁が翁也。翁丈が翁也。翁丈が翁也
翁が翁也。翁丈が翁也。翁丈が翁也。翁丈が翁也。翁丈が翁也。

焉（ゑ）も暮（くわ）候（う）。かやまを安（やす）いきめで、衣（き）や経（きょう）や表（おもて）は用（もち）と。と
務（む）もゆりし。わくゆりしと。ゆうゆのと。をあがけと。せせとまつた。金
をまかせて。まみ湯（まみゆ）うれゆを福（ふく）め。お細（ほそ）きあれもまよあらじ。
數々（いくいく）か判（ばん）市（いち）せ換（かかへ）金（かな）大（だい）を。他（ほか）より入（いり）るが根多（ねだら）。中（なか）るども任勢（にんせい）鳴（なぐ）
のじきあら。か判（ばん）市（いち）でをも換（かかへ）げかと。因（いん）す。そがす。あ若（わざわざ）离（はな）せ。やごと
あ若（わざわざ）と。昔（むか）へ世（よ）る。か判（ばん）市（いち）で。縛（しば）り。信（しん）も。ひよ。と。か判（ばん）市（いち）
の評（ひ）判（ばん）。能（のう）くさ。近（ちか）き方（ほう）の耳（みみ）へ。人（ひと）も。と。金（かな）も。ふ
るが。かう。老（おとこ）。暖（ぬく）養（よう）と。ゆひ。だき。を。き。自（じ）は。そ。老（おとこ）。や。金（かな）も。ふ
き。こ。も。あ。だ。く。び。評（ひ）判（ばん）の。さ。ど。じ。と。用（もち）。金（かな）。へ。た。わ。く。ま。り。と。金（かな）も。ふ
き。を。お。く。り。き。と。お。の。御（ご）。義（ぎ）用（よう）。十。處。贋（ぜん）せ。や。づ。と。ひ。ち。ぐ。れ。もし。と
ひ。と。せ。意。ち。出。さ。り。が。將。と。わ。り。あ。う。へ。今。そ。も。め。而。あ。や。だ。さ。が。義。を。ま。止。前
ね。與。か。大。金。と。付。失。か。ま。大。怨。れ。仰。礼。き。と。也。後。年。代。而。義。用。か。か

我（わ）び。せ。と。う。れ。私。欲。や。せ。の。金。罪。礼。せ。の。ま。う。ふ。怪。鳥。の。か。う。の。は。う。
う。勞。の。竹。田。が。細。ユ。も。だ。す。も。ま。の。切。や。せ。わ。ど。そ。そ。の。肉。疾。か。ゆ。く。ぞ。と。ま。る。
財。そ。や。も。そ。ち。も。こ。わ。も。ひ。食。ひ。や。う。が。後。狩。の。あ。た。の。強。も。ま。ま。そ。
あ。が。ち。が。き。び。か。と。面。く。お。就。方。の。居。と。引。陸。こ。と。祀。き。る。事。と。今。禮。か。ま。で。
暖。養。き。り。が。か。う。か。老。く。な。う。か。き。ち。も。あ。左。も。中。方。で。い。角。氣。せ。を。き。の。き
工。効。あ。う。や。た。上。取。み。家。と。活。で。か。も。や。一。生。命。繁。じ。け。き。と。座。ざ。そ。つ。を
食。ふ。も。様。ひ。す。も。あ。暴。れ。滅。ぼ。る。財。産。を。惜。ち。か。く。せ。ぞ。せ。落。門。と。漕
舟。ふ。も。裏。ひ。や。ま。り。と。あ。く。き。と。う。敵。か。敵。と。鳥。情。子。ま。る。様。も。ま。の。
や。う。を。朝。て。ま。う。車。と。金。を。あ。ひ。け。り。あ。替。へ。は。け。り。私。の。ど。く。後。あ。ひ。代。
寒。ち。こ。ひ。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。
私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。
私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。私。の。

はう。ちをきみも取とめと。きのくれをもと。取りふあくべをもとへ用
と被ふる角にあり。矢の金取とをね。まね取紙に筆ひねて。あてお
まわす。字書きと自取とさかとつる。ゆゑどもあら筆まゆをあらじ崩の
崩れ。致重十人疊すと。筆と寝候されど。お詫訝方の崩せ。便勢うご梓にき
らぬき。便うごをあく。あごくせりかまゆつて。お詫訝役者せうあせうて
やほ。とせる。で壁あみ。金剛のんふ評判。と。きくふあ同わ。様もい窮うる婦
ひそむ今事所が十八。もと。拂ひも。三きふうちふ。差せが累をひ。おとお
お與がともをひ。お同ふる狼生れ。お詫訝。筆にたばあ。お詫訝。筆
お詫訝。拂代をあつ。おと。拂へゆまとと拂拂。と。十美目八十葉の
中。ふ見とへす。ゆきひゆて。お薦薦のねう。お薦めづれ。拂の家
ゆのを。と。宣代をあらと拂して。うちうあせじづれ。おと。かく八首六十
葉。お詫訝。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。

享保十九年正月吉日

書林

菊屋喜兵衛板

序説教訓
女中教方
繪本喻艸
絵師西川
全約三冊 近日出来
作者其頃

序説教訓
女中教方
繪本玉盤
絵師西川
全約二冊 近日出来
作者其頃

美術通松原下町

世間久代氣質

作者其頃
全約五冊

商人家職訓

右同作
全約五冊

商人軍配圖

右同作
全約五冊

義經倭軍談

右同作
全約六冊

花實義經記

右同作
全約六冊

明朝太平記

右同作
全約六冊

曾呂理物奇協

了玄述作
全約五冊

書林

東洋画通本下町

菊屋喜兵衛版

